



株式会社ネオテック

環境経営レポート



対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日

発行日：2025年6月6日

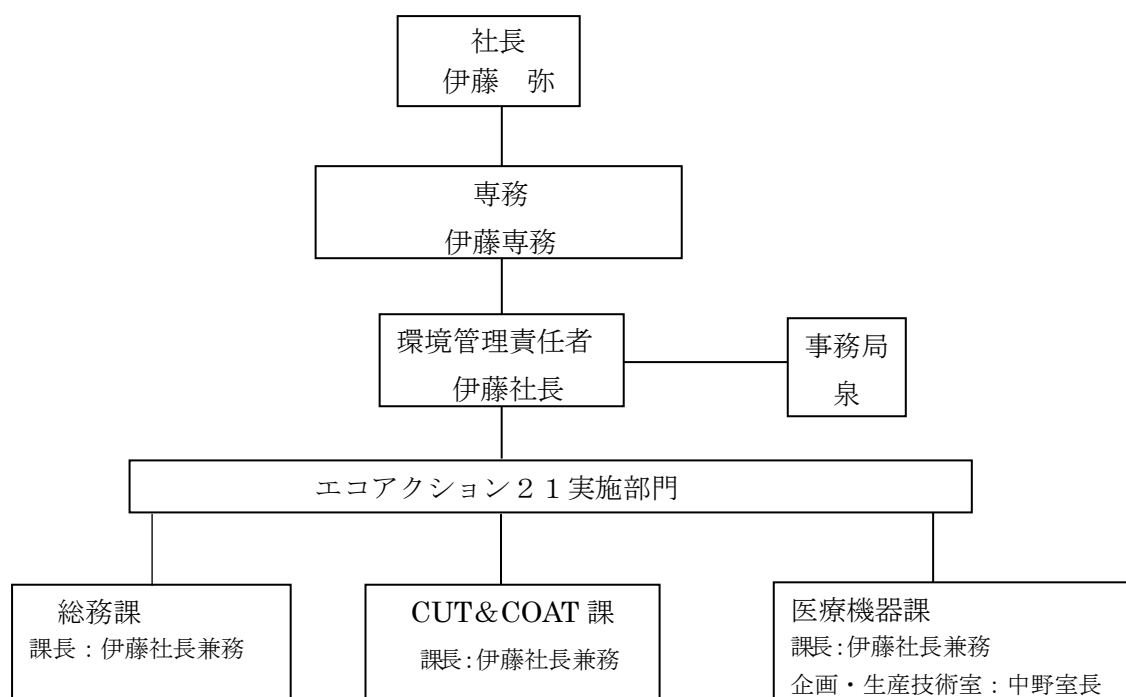
目次	ページ 1
1. 組織の概要	ページ 2
1－1 認証登録の事業所	
1－2 組織図	ページ 3
2. 対象範囲（認証・登録範囲）	ページ 4
3. 環境経営方針	ページ 4
4. 環境経営目標	ページ 5
5. 環境経営計画・実施方法	ページ 6, 7
6. 環境経営目標の実績	ページ 8
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組課題	ページ 9
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	ページ 10
8－1 環境美化清掃、環境上の緊急事態に対する訓練、環境教育の実施	ページ 11
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	ページ 12

1. 組織の概要

1-1 認証登録の事業所

事業所名		株式会社 ネオテック
所在地		神奈川県足柄上郡山北町平山 1 3 2 - 9
代表者		代表取締役 伊藤 弥
事業内容		自動車部品加工、特殊表面処理、医療機器製造
環境関係 受付窓口	環境管理責任者	C&C 課、医療機器課、総務課課長 伊藤 弥
	担当窓口	総務課
	T E L / F A X	0465-79-1501 / 0465-79-1502
	E - m a i l	info@neotec.ne.jp
事業規模	設立	2000 年 12 月 27 日
	資本金	990 万円
	延床面積	3,106m ²
	主要製品生産高・売上高	主要製品売上高：427 百万円
	C&C 課 CUT (ボルト等)	
	C&C 課 COAT (バスケット等塗装)	
	医療機器課 (ガイドワイヤー等)	
従業員		56 名 2025 年 3 月 31 日現在

1-2 エコアクション21実施体制及び組織



	役割・責任・権限
社 長	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境経営方針の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるE A 2 1 EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境経営関連文書類の作成・整理
事務局	1. 環境管理責任者の補佐 2. 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 3. 環境経営の実績集計、環境経営関連法規等取りまとめ表の作成 4. 環境経営関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 5. 環境経営関連の外部コミュニケーションの窓口、環境経営レポートの作成
部門責任者	1. 自部門における環境経営システムの実施、環境経営方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 2. 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 3. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 4. 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 5. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	1. 環境経営方針を理解し、部門の環境経営活動に従って活動する。

2. 対象範囲（認証・登録範囲）

取組の対象組織・活動：株式会社 ネオテックの全組織・全活動・全従業員

所在地：神奈川県足柄上郡山北町平山 1 3 2－9

3. 環境経営方針

添付 1

株式会社ネオテック環境経営方針

<環境理念>

当社は気候変動を考慮し、環境の維持、改善に努め、地域社会と地球環境の保全に貢献します。

<環境経営方針>

- 1.当社は環境負荷の低減や環境改善を図るため、次の事項に重点的に取り組みます。
 - (1) 地球温暖化防止のため二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - (2) 廃棄物の削減及び適正処理、リサイクルの推進に努めます。
 - (3) 節水に努めます。
 - (4) 技術的に削減可能な化学物質使用量の削減に努めます。
 - (5) グリーン購入に努めます。
 - (6) 製品の生産に於いて、コスト低減を通じて環境負荷の低減に繋がる提案活動に取り組みます。
- 2.環境改善活動状況を確認し、改善及び是正を行い、環境経営マネジメントシステムの維持、継続的改善に努めます。
- 3.環境に関する法規、規制及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
- 4.環境目的・目標を設定し、必要に応じて見直しを行います。
- 5.環境経営方針は、文書化し、かつ従業員に周知するとともに、社外に公開します。

制定：2020 年 4 月 1 日

改訂：2025 年 4 月 1 日

株式会社ネオテック

代表取締役 伊藤 弥

4. 環境経営目標

環境経営目標

添付 2

環境経営目標	基準(実績)		年度目標	中期目標		
	2024年度		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
1. 二酸化炭素排出量の削減	433,913 kg-CO ₂ (489,151) kg-CO ₂		基準年度比 9.5 %増加 475,342 kg-CO ₂	前年度比 5.0 %削減 451,575 kg-CO ₂	前年度比 3.0 %削減 438,214 kg-CO ₂	前年度比 1.5 %削減 431,641 kg-CO ₂
1.1 電力使用量の削減 ⁽¹⁾	1,062,281 kWh 414,290 kg-CO ₂ (469,528) kg-CO ₂		基準年度比 10 %増加 1,168,509 kWh 455,719 kg-CO ₂	前年度比 5.0 %削減 1,110,084 kWh 432,933 kg-CO ₂	前年度比 3.0 %削減 1,076,781 kWh 419,945 kg-CO ₂	前年度比 1.5 %削減 1,060,629 kWh 413,646 kg-CO ₂
1.2 自動車燃料使用量の削減	7,899 L 19,623 kg-CO ₂		基準年度 維持 7,899 L 19,623 kg-CO ₂	前年度比 5.0 %削減 7,504 L 18,642 kg-CO ₂	前年度比 2.0 %削減 7,354 L 18,269 kg-CO ₂	前年度比 1.5 %削減 7,244 L 17,995 kg-CO ₂
2. 廃棄物排出量の削減 ⁽²⁾	一般廃棄物	2,381 kg	基準年度比 10 %増加 2,619 kg	前年度比 3.0 %削減 2,541 kg	前年度比 5.0 %削減 2,414 kg	前年度比 2.0 %削減 2,365 kg
	産業廃棄物	13,840 kg	基準年度比 15 %増加 15,916 kg	前年度比 10 %削減 14,324 kg	前年度比 5.0 %削減 13,608 kg	前年度比 2.0 %削減 13,336 kg
3. 水資源投入量の削減	556 m ³		基準年度比 維持 556 m ³	前年度比 維持 556 m ³	前年度比 維持 556 m ³	前年度比 維持 556 m ³
4. 化学物質使用量の削減	3,163 kg		基準年度比 5.0 %増加 3,321 kg	前年度比 10 %削減 2,989 kg	前年度比 2.0 %削減 2,929 kg	前年度比 2.0 %削減 2,871 kg
5. グリーン購入	30品目		30品目以上	30品目以上	30品目以上	30品目以上
6. 自らが提供する製品及びサービスに関する環境配慮	客先へのコスト削減提案 6件		生産に直接関係して材料・工数等の低減に繋がる改善提案件数 30件以上	同左 30件以上	同左 30件以上	同左 30件以上
7. 品質目標 不良低減	C&C課 4件 医療機器課 0件 納期遅延 0件 社内改善提案 47件		C&C課 0件 医療機器課 0件 納期遅延 0件 社内改善提案 60件	毎年度設定	同左	同左

注(1) 購入電力のCO₂排出係数:0.390を適用。 R4年度実績 R6.7.19経産省・環境省公表

注(2) 二酸化炭素排出量及び電力使用量の基準年の()内の数値は前年度までの使用係数0.442に基づく数値を記載

注(3) 産業廃棄物は、m³での契約の為弊社のにおける産業廃棄物係数0.35/m³を適用。

(排出実績を考慮し従来の係数0.5825/m³からの見直しを実施。 2023.4.1)

2024年度環境経営計画・実施方法

添付3

基準年度:2023年度

NO.	中期目標(2025年度)	年度目標(2024年度)	施 策	責任者	具体的方法
1	二酸化炭素排出量の削減 前年度比2.5%減 505,847kg-CO ₂	518,817kg-CO ₂	1. 節電の徹底 2. エコドライブの徹底	総務課長 CUT&COAT課長 医療機器課課長	1. 節電の徹底 (1)各課毎に自部署が主として使用する部屋の節電を図る。 (共通部分は総務課が担当) (2)不使用時、不在時の照明等の消灯を徹底する。 2.エコドライブの徹底 (1)運転者にエコドライブの徹底を図る為、安全運転及びエコドライブの資料を毎月回覧する。 (2)配送・送迎を計画的に実施し、無用な運行を削減する。
1.1	電力使用量の削減 前年度比1.5%減 1,106,120kWh 488,906kg-CO ₂	1,122,965kWh 496,351kg-CO ₂	1. 節電の徹底	総務課長 CUT & COAT課長 医療機器課長	(1)不在時、不使用時の消灯の徹底、休憩・残業時の事務所照明50%OFFを実施する。 (2)長時間の離席及び退社の際はパソコンモニターの電源OFFを実施する。 (3)空調設備の定期的な清掃の実施と作業終了15～30分前の電源OFFを心掛ける。 (4)従業員からの改善提案を積極的に募り作業効率改善から電力使用量削減へ繋げる。 (5)消し忘れ等がないよう最終退社者が確実に確認を実施する。 (6)空調制御システムの導入について検討する。 (7)省エネタイプへの切替が可能な機器について検討する。 (8)管理者携帯のスマホ化(自席に戻る事無くメールを確認出来るようになり作業効率に寄与)
				医療機器課	夜間のクリーンルーム内のエアコンの稼働を50%削減を継続する。
1.2	自動車燃料使用量の削減 前年度比10%削減 7,394L 18,382kg-CO ₂	8,216L 20,424kg-CO ₂	1. エコドライブの徹底	総務課長 CUT & COAT課長 医療機器課長	(1)全従業員にエコドライブ、安全運転の資料を回覧しその重要性について再認識してもらう。 (2)配送、送迎を計画的に実施し、無用な運行を削減する。 (3)アイドリングストップを励行する。 (4)社有車に「エコドライブ:急発進、急加速禁止」のステッカーを貼付ける。 (5)ドライブレコーダーを設置し安全運転、エコドライブの両立を図る。
				COAT	受注状況に応じた配送回数の見直し実施
2	廃棄物排出量の削減 一般廃棄物 前年度比10%増加 2,631kg	2,392kg	1. 分別の徹底	総務課長 CUT & COAT課長 医療機器課長	(1)廃棄物置場に写真表示をして資源物、廃棄物分別の徹底を図る。 (2)リサイクル可能な雑誌、カタログ、段ボール等を有価物とする。 (3)物を受け取る際は、必要・不必要をよく吟味の上必要ない物は極力受け取らない。 (3)-1 不要DMの停止による廃棄物削減
	産業廃棄物 前年度比10%増加 16,182kg	14,711kg	1. ロスを出さない生産活動 2. リサイクルの実施	総務課長 CUT & COAT課長 医療機器課長	(1)各工程でのロス率削減に取り組む。(ミーティングにおける注意喚起を実施する。) (2)廃棄する際に可能な限り圧縮、減量して廃棄する。 (3)化学物質を適正に管理・使用する。 (4)リサイクル可能な金属クズ等を有価物とする。 (5)従業員からの改善提案を積極的に募り、情報を周知・共有し廃塗料等の削減を図る。
				COAT	(6)循環設備を効率よく稼働し化学物質使用量(購入量)・廃液の削減に繋げる。 塗料の調合は必要最低限とし、廃棄にならないようにする。(従来は調合が難しいものは多めに調合していたが、注文が入らなかった場合廃棄となっていたため)使用量削減も同様とする。

3	水使用量の削減 前年度比2%削減 563m ³	575m ³	1. 節水意識の向上	総務課長 CUT&COAT課長 医療機器課長	(1)水量計の定期的な確認を行い、使用量に異常がないか確認する。(衛生巡視時確認) (2)小便器の使用前自動洗浄を止める。 (3)トイレに擬音装置を設置し水洗回数を減らす。 (4)室外機への散水を中止する。(空調設定温度見直しにより電力負荷が低減した為) (5)蛇口に「節水励行」のステッカーを貼付する。
				総務	ボットの残り湯は清掃、噴霧器に使用し無駄のない利用を心掛ける。 噴霧器の残りについても清掃に使用する。
4	化学物質使用量の削減 前年度比10%削減 3,134kg	3,483kg	1. ロスを出さない生産活動	CUT&COAT課長	(1)各工程でのロス率削減に取り組む。(ミーティングにおける注意喚起を実施する。) (2)化学物質を適正に管理・使用する。 (3)従業員からの改善提案を積極的に募り、情報を周知・共有し使用量を削減する。
				COAT (産廃施策と同様)	(4)循環設備を効率よく稼働し、化学物質使用量(購入量)・廃液の削減に繋げる。 塗料の調合は必要最低限とし、廃棄にならないようにする。(従来は調合が難しいものは多めに調合していたが、注文が入らなかった場合廃棄となっていたため)使用量削減も同様とする。
5	グリーン購入 30品目以上	30品目以上	1. グリーン購入を継続・推進する。	総務課長	(1)事務用品発注者に朝礼を活用し毎月1、15日にグリーン購入について進捗等の情報共有を図る。 (2)事務用品を中心にエコ品の購入を図る。 (3)日常における事務用品発注時に、エコ品への切り替えが可能か調査・検討する機会をつくる。
6	自らが提供する製品及びサービスに関する環境配慮 6件以上	環境設計の実施 客先にコスト削減の 為の提案を行う。5件 以上	1. 客先にコスト削減の為 の提案を行う。 5件以上(採用の有無は 問わない。)	CUT&COAT課長 医療機器課長 総務課長	(1)提案の状況を毎月の部門M/Tでの確認事項とし取組の強化を図る。
				総務	細かい事であっても提案に繋げていけるように部署の朝礼等において提案例等を紹介し 客先への提案へと繋げていく。
7	品質目標 CUT&COAT 0件 医療 0件 納期遅延 0件 社内改善提案 60件	CUT&COAT 0件 医療 0件 納期遅延 0件 社内改善提案 60件	1. 不良低減	CUT&COAT課長 医療機器課長 総務課長	2023年度に発生した苦情を分析し、必要な予防処置を品質改善活動計画に反映させて不良の 低減に向けて取り組んでいく。 提出された提案については通用口へ提示し周知・共有を図る。 6月度は環境月間に合わせてポイント2倍月間とし促進を図る。 年間件数賞を新設し、改善提案提出の促進を図る。
				CUT	外注先からの設備導入があり、切削油の使用量の削減と安全面からも改善提案に積極的に 取り組んでいく。
NO.	評価・確認 月日	評価・確認者	評価・確認事項	評価・確認結果、コメント、是正処置等	
1 1.1 1.2 2 3 4 5 6 7	2025.4.25	伊藤社長 泉	二酸化炭素排出量 電力使用量 自動車燃料使用量 一般廃棄物 産業廃棄物 水資源投入量の削減 化学物質使用量削減 グリーン購入 客先へコスト削減の為の提案 品質目標 不良低減 改善提案	下記1.1、1.2に同じ 設備更新等もなく、大きな電力削減は難しい状況であったが、こまめな消灯等年間を通じて実施する事が出来た。 安全運転を含めたエコドライブの資料の閲覧は継続して実施し出来た。受注に応じた無駄のない配送も継続出来ている。 不要なDMの停止等廃棄物削減に繋がる取組みが実施出来ている。分別廃棄も継続して実施出来ている。 受注状況にもよるが、廃プラが増加傾向にある。有価物との分別廃棄を確実に実施していく。 生産に使用していない事もあり生活利用が中心となるが、総務課を中心に無駄のない利用が継続出来ている。 受注に応じた調合等無駄のない使用が実施出来ている。この取り組みは廃液の削減にも繋がる取組みとなる。 価格高騰の影響は大きいですが、バランスを考慮しながら事務用品を中心に定期的に購入する事が出来た。 大きなコスト削減に繋がる提案は出来なかったが、年間6件の提案が実施出来た。 2024年度の苦情および工程内不良の分析を行い、不良低減に繋げる。 件数賞を新設したが大きな効果は得られなかった。2025年度は全体目標を部署毎に割り振り各課で取り組み・フォローを実施していく。	

6. 環境経営目標の実績

添付4

環境経営目標	年度実績			年度目標	運用実績	
	2021年度	2022年度	2023年度 (基準年)	2024年度	2024年度	
					実績	達成度(基準年度比)
1. 二酸化炭素排出量の削減	491,269 kg-CO ₂	525,086 kg-CO ₂ (466,352) kg-CO ₂	471,652 kg-CO ₂ (418,566) kg-CO ₂	基準年度比10%増加 518,817 kg-CO ₂ (458,380) kg-CO ₂	489,151 kg-CO ₂ (433,913) kg-CO ₂	達成5.7%削減
1.1 電力使用量の削減 ⁽¹⁾	1,061,307 kwh 469,098 kg-CO ₂	1,126,895 kwh 498,088 kg-CO ₂ (439,489) kg-CO ₂	1,020,877 kwh 451,228 kg-CO ₂ (398,142) kg-CO ₂	基準年度比10%増加 1,122,965 kwh 496,351 kg-CO ₂ (437,956) kg-CO ₂	1,062,281 kwh 469,528 kg-CO ₂ (414,290) kg-CO ₂	達成5.4%削減
1.2 自動車燃料使用量の削減	8,918 ℓ 22,171 kg-CO ₂	10,903 ℓ 26,863 kg-CO ₂	8,216 ℓ 20,424 kg-CO ₂	基準年度維持 8,216 ℓ 20,424 kg-CO ₂	7,899 ℓ 19,623 kg-CO ₂	達成3.8%削減
2. 廃棄物排出量の削減	3,310 kg	3,157 kg	2,278 kg	基準年度比5%増加 2,392 kg	2,381 kg	達成0.4%削減
	20,780 (14,550) kg	22,976 (15,610) kg	14,010 kg	基準年度比5%増加 14,711 kg	13,840 kg	達成5.9%削減
3. 水資源投入量の削減	504 m ³	562 m ³	558 m ³	基準年度比3%増加 575 m ³	556 m ³	達成3.3%削減
4. 化学物質使用量の削減	4,212 kg	4,203 kg	3,166 kg	基準年度比0.5%削減 3,483 kg	3,163 kg	達成9.1%削減
5. グリーン購入	30 品目	28 品目	36 品目	30 品目	32 品目	達成
6. 自らが提供する製品及びサービスに関する環境配慮	環境配慮設計実施 客先にコスト削減の 為の提案を行う 2件	環境配慮設計実施 客先にコスト削減の 為の提案を行う 3件	環境配慮設計実施 客先にコスト削減の 為の提案を行う 5件	環境配慮設計実施 客先にコスト削減の 為の提案を行う 5件	環境配慮設計実施 客先にコスト削減の 為の提案を行う 6件	達成(内容) ①仕入業者 納入時の封筒類削減を提案 ②小売業者 ビニール袋の削減を提案 ③金融機関 各帳票類を通い封筒でやり取りする提案 ④仕入業者 帳票類を電子取引とする提案 ⑤取引業者 不要と思われる帳票の郵送停止を提案 ⑥取引業者 圧造の変更を提案
7. 品質目標	不良低減 C&C 9件 医療 2件 納期遅延 0件 改善提案(金額) 83.3万円	不良低減 C&C 12件 医療 0件 納期遅延 0件 改善提案(金額) 31.8万円	不良低減 C&C 11件 医療 1件 納期遅延 0件 改善提案(件数) 30件	不良低減 C&C 0件 医療 0件 納期遅延 0件 改善提案(件数) 60件	不良低減 C&C 4件 医療 0件 納期遅延 0件 改善提案(件数) 47件	未達 達成 未達

注(1) 購入電力のCO₂排出係数:0.442を適用。 R3.1.7経産省・環境省公表

注(2) 二酸化炭素排出量及び電力使用量の()内の数値は、2025年度から採用するCO₂排出係数0.390での数値を記載

注(3) 産業廃棄物は、m³での契約の為弊社のにおける産業廃棄物係数0.35/m³を適用。2021、2022年度の()内の数値は現係数にて再算出
(排出実績を考慮し従来の係数0.5825/m³からの見直しを実施。 2023.4.1)

7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取り組む課題

添付5

基準年度：2024年度

N O .	中期目標 (2 0 2 5 年度)	年度目標	運用実績	実施状況	次年度の取組み
		2024年度	2024年度		
1	二酸化炭素排出量の削減 前年度比9.5%増加 475,342kg-CO ₂	518,817 kg-CO ₂ (458,380)	489,151 kg-CO ₂ (433,913)	下記1.1、1.2の通り	下記1.1、1.2の通り
1.1	電力使用量の削減 前年度比10%増加 1,168,509kWh 455,719kg-CO ₂	1,122,965 kWh 496,351 kg-CO ₂ (437,956)	1,062,281 kWh 469,528 kg-CO ₂ (414,290)	大きな電力削減に繋がる設備の更新は出来なかったが、不在時不使用時の消灯等の徹底等のこまめな節電等を実施した。	電力削減に繋がる設備更新は予定されていないため、引き続きこまめな消灯等の取り組みを実施すると共に改善提案による工数削減等による電力資料量削減に取り組む。
1.2	自動車燃料使用量の削減 前年度維持 7,899L 19,623kg-CO ₂	8,216 L 20,424 kg-CO ₂	7,899 L 19,623 kg-CO ₂	受注量に応じた配送は継続出来ている。エコドライブ資料の回覧も継続しておりその意識は継続出来ている。	エコカー導入等の計画はなく、引き続き無駄のない運行・エコドライブ資料の回覧等を継続する。
2	廃棄物排出量の削減 前年度比10%増加 一般廃棄物 2,619kg 前年度比15%増加 産業廃棄物 15,916kg	一般廃棄物 2,392 kg 産業廃棄物 14,711 kg	一般廃棄物 2,381 kg 産業廃棄物 13,840 kg	不要DMの停止、廃液削減に繋がる受注に応じた調合等廃棄物削減に繋がる取り組みを実施した。また、一般・産業廃棄物共に分別廃棄が継続出来ている。	有価となる物、リサイクルできる物を確実に分別していく。廃液については劣化による廃棄を防ぐ為適正な管理・使用に注力する。
3	水使用量の削減 前年度維持 556m ³	575 m ³	556 m ³	ポットの残り湯は清掃に使用する等無駄のない利用が出来ている。	噴霧器の残りについて清掃に使用する等無駄のない利用を継続していく。
4	化学物質使用量の削減 前年度比5%増加 3,321kg	3,483 kg	3,163 kg	受注に応じた調合を行う等使用量と廃液削減に繋がる取組みは継続出来ている。	受注に応じた調合の取組みから適正な使用・管理を継続する。
5	グリーン購入 30品目以上購入	30品目以上購入	32 品目	朝礼等を活用し進捗状況を情報共有を行いながらグリーン購入を実施した。	引き続き価格とのバランスを考慮しながら切替可能な物について切替えを進めていく。
6	環境配慮設計 生産に直接関係して材料・工数等の低減に繋がる改善提案件数 30件以上	客先にコスト削減の為に提案を行う。 5件	6 件	大きな削減に繋がる提案は無かったが、細かい提案を中心に6件の提案を実施する事が出来た。	客先へのコスト削減提案は、分析の結果継続が困難な事もあり2025年度は既に取り組んでいる改善提案のうち生産に直接関係して材料・工数低減に繋がる提案を抽出して取り組んでいく。
7	品質目標 不良低減 C&C課 0件 医療機器課 0件 納期遅延 0件 社内改善提案 60件	不良低減 C&C課 0件 医療機器課 0件 納期遅延 0件 社内改善提案 60件	不良低減 C&C課 4件 医療機器課 0件 納期遅延 0件 社内改善提案 47件	品質改善活動計画に基づき実施	不良低減 2024年度の苦情及び工程内不良の分析を行い、不良低減に繋げる。 社内改善提案 2025年度は、全体目標を部署毎の人数によって割り振り各課で取組み・フォローを実施していく。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

8-1

(1)関係する環境関連法規等取りまとめ表に基づいて確認した結果は下記のとおり。

遵守状況：○違反なし、×要改善

環境関連法規等	遵守状況
1. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○
2. 神奈川県環境基本条例	○
3. 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	○
4. フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	○
5. 毒物及び劇物取締法	○
6. 消防法・危険物関係	○
7. 神奈川県生活環境の保全等に関する条例	○
8. 小田原市火災予防条例	○

(2)違反、訴訟の有無

当社は環境に関連して適用する法規、条例等を遵守しており、環境についての行政からの指摘、近隣による訴訟はありません。また当事業所は過去3年間、行政、近隣からの環境関連法規等に関する違反、指摘、訴訟はありません。

8-2

(3)環境美化清掃活動

当社では環境整備及び近隣との良好な関係を継続するために定期的に工場外周の清掃を安全衛生委員によって行っています。



2024 年度工場外周清掃実施日

2024 年 6 月 25 日 (火)
2024 年 10 月 22 日 (火)
2025 年 3 月 25 日 (火)

(4)避難訓練及び環境緊急事態想定訓練の実施

避難訓練と併せて、借用した水消火器を使用した初期消火訓練と危険物流出防止訓練を実施した。11月1日に実施された防火安全協会の防災訓練と併せて多くの従業員が消火訓練を実施出来た事は有効となります。

実施日 2024年10月25日（金） 14：45～



(5)環境教育の実施

社内には、環境社会検定試験（eco 検定）の合格者（エコピープル）が2名います。全体会において、今年度初めて年間4回の環境教育を実施しました。実施する内容については2名のエコピープルがそれぞれ内容を各自で考えて実施しました。

全体会をお休みした方には、全体会資料として資料の回覧を実施しています。

環境教育実施日

2024年5月6日(月)	廃棄物の区分について
2024年8月1日(木)	海水温の史上最高を更新 地球環境に厳しい影響
2024年11月1日(金)	美味しくない、紙ストローに思うこと
2025年2月3日(月)	オリンピックと環境問題、プラスチックの行方



9. 代表者による全体評価と見直しの結果（見直し実施日：2025年5月28日）

(1) 全体評価

電力使用量 達成	設備の更新等大きな電力削減に繋がる施策は取りづらい状況にあり人の力による所が大きい。こまめな消灯等の意識は浸透している。
燃料使用量 達成	受注状況に応じた配送を継続出来ている。安全運転を含めたエコドライブの資料による教育も継続していく。
二酸化炭素排出量 達成	電力・燃料ともに人の力による取組みが大きい。大きな電力削減には繋がらないが 必要な取組のため、今後も継続して取り組む。
廃棄物排出量 一般廃棄物 達成	分別廃棄は継続出来ている。雑紙等はそのままりサイクルに回す取組みを 継続しており、必要以上にシュレッダーをすることが無いよう取り組んでいる。
産業廃棄物 達成	有価物と廃棄物を分別しての廃棄が実施出来ている。受注の状況により廃プラスチック が多くでる事がありこの廃棄が課題となっている。
水使用量 達成	無駄のない利用が継続出来ている。定期的な水量計のチェックも実施していく。
化学物質使用量 達成	在庫積み増し生産は、想定が難しい状況にあったが無駄の出ないような調合の実施が 廃液ロスにもなり適正な管理使用にも繋がる取組みだった。
グリーン購入 達成	資材の価格高騰の影響は非常に大きい、引き続き価格とのバランスを考慮しながら 事務用品を中心に環境対応品の購入を進めていく。
コスト削減提案 達成	大きなコスト削減に繋がる提案は無かったが、提案意識は継続出来ている。 2025年度は自社で取り組んでいる改善提案のうち直接生産に繋がり工数・材料低減に 繋がる改善提案件数に変更して取り組む。
品質目標 不良低減 未達 改善提案 未達	2024年度の苦情及び工程内不良の分析を行い、不良低減に繋げる。改善項目等の進捗 が遅く、置き去りになっている事が多いので解消していく必要がある。 新たな賞を新設したが、効果は薄かった。2025年度は、全体目標を部署毎の人数に よって割り振り、各課での取組みとフォローを実施していく。
全体を通して	2024年度は生産が終了した製品と新規で立ち上がってきた製品があり計画通りに 進まない難しい1年だった。また2024年度は環境検定合格者2名による環境教育を年4回 実施したが、この取り組みを通して社内の環境意識の高揚に繋げていきたい。

(2) 見直しの結果

評価結果に基づく変更の要否の判断は、次の通りとした。

①環境経営方針：変更しない。

②環境経営目標：変更する。

当社の場合、毎年受注量、受注内容の変動が大きいため、それらの影響を受ける環境経営目標の各項目
が毎年大きく変動する。そのため、長期間を予測した目標を定めるのは困難である。

グリーン購入については、中期目標通りに進める。

コスト削減提案については、2025年度より自社で取り組んでいる改善提案のうち生産に直接関係して
材料・工数低減に繋がる改善提案件数に変更する。

それ以外の項目は2024年度を基準として目標値を定める。

③環境経営計画：変更する。

上記②の変更に従って、2025年度の環境経営計画を変更する。

④環境経営システム：変更しない。

以上